

2023年度 つむぎ桶川ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア (最大スコア5)	改善策・ご意見への対応について
業務改善について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.0	基本的な清潔感を維持するとともに、大人が子どもに背中を見せていけるような美観意識の徹底を目指していきます。
	Q3	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.3	休憩時間等は適切に取れるよう、施設長自らスタッフに声をかけるようにしております。タスク管理と並行しながら継続して働きやすい職場づくりをしていきます。
	Q4	保護者様にアンケート調査等を行い、保護者様の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.3	保護者様から頂いたアンケートに関しては、スタッフ全員で内容を共有し、即座に改善可能な案件に関しては即日対応を実施する等、できる限りニーズに沿えるように努力しています。
	Q5	スタッフの資質、支援スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.3	併設園という環境を生かし、保育園スタッフと相互的に研修機会を設けることで、多角的な視点が得られるような学びの機会を提供できるようにしています。
	Q6	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		今年度より人事採用部と密に連携が取れるようになっており、マイナの求人掲示やどろんこ会HP上の求人募集等、人員を確保するための動きは行っています。面接も増えているため、人員を確実に獲得していく、個々の負担を減らしていくことを目指していきます。
適切な支援の提供について	Q7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.4	支援計画に関しては6か月に一回、保護者様、及びスタッフからの聞き取りを基に見直しをしており、発達に応じて適切な支援が提供できるように留意しております。
	Q8	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.1	戸外活動が中心となっている中、本人の自己選択が室内であった場合は無理強いしない等、主体性を育めるような支援を提供できるようにしております。
	Q9	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.7	月ごとにプログラムのテーマを決め、更に週単位で活動内容を変える等、事前準備をしながら、プログラムが固定化されないように意識して提供しております。
	Q10	プログラム開始前にはスタッフ間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.0	事前に時間を確保するようにしておりますが、スタッフごとに抱えるタスクが異なるため、必ず実施できていない場合もあります。今後、改めてタスク管理、及び時間管理をすることで、事前準備が徹底してできるように留意していきます。
	Q11	支援終了後には、スタッフ間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.4	スタッフの勤務時間等で制限はありますが、基本的にはその日の支援での留意事項などは必ず終礼にて伝達するようにしており、難しい場合でも伝達ボードで引継ぎを行ななどの管理をしております。
	Q12	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.0	記録に関しては基本的にその日のうちに終わらせるようにしておりますが、他業務等により、後日になることもあります。継続的なケース検討を行うためにも日々記録をとれるようにしていかなければと思います。
	Q13	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができるか。	4.7	モニタリングに関しては保護者、子どもともに定期的に実施しており、個別支援計画の説明も期間内に終えることができております。
	Q14	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.0	支援内容に関しては活動の充実のため、複数支援を組み合わせられるように定期的に見直しを実施しております。
	Q15	適切な支援の提供について、ご提案をお聞かせください。		退勤時刻による引継ぎに関しては、チャットなどを有効活用し、共有に漏れがないようにしていきます。
	Q16	日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.6	支援後には必ずFBを実施しており、保護者様とはその日の支援、及び発達に関しての話をすることがでております。
保護者様との連携について	Q17	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	3.9	コロナ禍の影響が残っており、まだ連携面では弱い点がありますが、今年度より少しずつ対面でのケースカンファレンス等を実施できており、連携面の強化を図っております。
	Q18	児童発達支援事業所同士で連携をとり、利用児についての情報共有、相互理解に務めているか。	3.6	併用先が市のセンターの子が多いため、比較的情報共有などはとれていますが、民間の事業所を利用している利用児の情報共有が中々できていない現状があります。民間事業所が桶川近辺も増えているため、積極的に情報交換などに努めるようにしていきます。
	Q19	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.4	法人の運営する放課後等デイサービスが近くにはないため、桶川近隣の放課後等デイサービスをできる限り紹介するように留意しています。一方、つむぎに類似した支援を展開する放課後等デイサービスは少ないため、改めて情報収集をし直し、利用児に適した接続を勧めることができます。
	Q20	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.7	基本的には園長大学等の社内研修にて知識を深めることができますが、センター主催の研修会にも時間の都合が合えば積極的に参加するようにしております。
	Q21	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.1	基本的には会議には参加していませんが、今年度より自治体運営のセンターの合同研修会などには参加するようにしており、次年度以降参加を促進していく予定です。
	Q22	障害の有無にかかわらず、子ども同士が関わる機会を設けているか。	4.7	併設園という特性を生かし、マンスリー、個別問わず、子どもたちが園児とかかわる機会を定期的に提供するような支援を実施しております。
	Q23	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	4.6	保護者交流会などは地域の方々にも参加可能な形で提供しており、ちくんえっへにきた地域の方にも積極的に参加をお願いする等をしております。
	Q24	保護者様の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者様の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.3	ご家庭により様々な事情があるため、できる限りそのニーズに沿った形で支援が提供できるよう、常に保護者様とは密に連携をとるように留意しております。

2023年度 つむぎ桶川ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

	Q25	関係機関や保護者様との連携について、ご提案をお聞かせください。		他関係連携機関との連携に関してはまだ密に取れていない部分がありますが、今年度よりコロナ禍が一通り終息したこともあり、担当者会議等で外に足を運ぶ機会が増えています。次年度以降も積極的に継続したかわりが持てるよう留意していきます。
保護者様やお子さまへの対応などについて	Q26	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.7	保護者のニーズと祖語の内容、事前のアセスメントの段階で支援内容に関しては丁寧にお話しするようにしております。契約内容に関しては事例を出しながらわかりやすくお話しできるように意識しております。
	Q27	保護者様からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.6	定期的に相談支援を勧めることで、保護者様が悩みを抱え込まないよう、常に意識しながら支援にあたっております。
	Q28	保護者様同士が集まれる場の提供など、保護者様同士の連携につながる支援を行っているか。	4.1	保護者交流会を定期的に開催しており、保護者の方々が悩みを相談できる場、連携し易い場を設けております。
	Q29	子どもや保護者様からご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.3	今年度に関してはご意見を頂いておりませんが、ご質問等あった際には、できる限り早急にお返しできるような態勢を整えております。
	Q30	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者様に対して情報を発信できているか。	4.3	HPの使用はしておりませんが、メイン内の掲示板などを借りし、保護者交流会などのイベント告知をしております。
	Q31	障害のある子どもや保護者様との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉かけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.1	スタッフ全員専門性が高いルームですが、保護者様に対してはできる限り専門用語は使わず、かみ砕いた言葉で説明できるように留意しながら対応しております。
	Q32	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.0	個人情報に関しては常に注意するように意識しております。鍵の取り扱いなどは再度施設内で周知徹底をしていきます。
	Q33	スタッフ同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.6	スタッフ同士での連携は声を掛け合うことを意識して支援に携わることができております。情報共有に関しては保護者アンケートでもご指摘頂いた事案であるため、改めて引継ぎに関する方法は検討していければと思います。
	Q34	保護者様や子どもへの対応などについて、ご提案をお聞かせください。		利用児保護者への円滑な連絡、及び施設内業務の効率化を考え、SNSツールを用いた情報発信について、本社と相談、検討をしていきます。
非常時の対応について	Q35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.1	スタッフ全員がマニュアルの場所をこたえることができておらず、起こりえる事案に関する対応は全員が答えることができるようになっております。
	Q36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.3	避難訓練に関しては毎月決められた日時に必ず実施することができており、今後も継続して実施していきます。
	Q37	虐待を防止するため、スタッフの研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.3	虐待防止委員会をつむぎスタッフ向け、保育園・つむぎ両スタッフ向けと開催しており、日々虐待に対するアンテナが張れるように対応しております。
	Q38	ヒヤリハット事例集を作成して、ルーム内で共有しているか。	4.3	事故防止委員会を通して、ヒヤリハットの洗い出しを行い、ルームで共有するようにしております。
	Q39	非常時の対応について、ご提案をお聞かせください。		避難訓練を毎月実施するのはマストだが、スタッフが緊張感を持って取り組むことができるよう部課長同席での実施日を設けることを検討していきます。
満足度について	Q40	子どもは必要な支援を受けられていると感じていますか。	4.1	法人の理念、つむぎで提供する支援の意味を再度スタッフ一同考えることができるように機会を設けることで、子どもにとってより良い支援を提供できるようにしていきます。
	Q41	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.4	引き続き、子どもたちに寄り添った支援を提供していきます。
	Q42	設問事項に関わらず、ご提案などお聞かせください。		施設内のマネジメント業務に関して、より理解が深まるよう、事前研修の内容変更を部課長に相談していきます。

アンケート実施期間:2023年8月15日～9月5日

全回答数 : 7

つむぎ桶川ルーム
施設長 伊藤 貴大